

6/1 会員の増員を願って  
愛南町シルバー人材センター CM 撮影



▲な-しくんと一緒に、踊りを披露する愛南町シルバー人材センターの皆さん

南レク松軒山公園で、愛南町シルバー人材センターのCM撮影が行われ、会員4人と愛南町のご当地キャラクターな-しくんが参加しました。

この日は良い天気の中、会員は撮影スタッフの指示の下、踊りや演技を見せ、終始楽しく撮影が行われました。

CM撮影を企画した愛南町シルバー人材センターの吉田正一事務局長は、「CMを流すことで、シルバー人材センターの活動を知らせてもらうとともに、会員の増員を願っています」と話していました。

なお、CM撮影は愛媛県シルバー人材センター連合会の協力を得て行われました。

シルバー人材センター会員募集

シルバー人材センターでは、新規事業拡張により、介護や買い物の付き添いなどを行ってくれる女性を3人程度、草刈り作業をする男性を5人程度募集しています。併せて、サンパールの切符売り場や売店の受け付けをする女性の就労会員を3人程度募集します。

詳しくは、愛南町シルバー人材センター（電話：73-2900）にお問い合わせください。



6/8 貝毒に早期対応できる分析キット  
麻痺性貝毒簡易分析キット分析試験

愛南町役場西海支所で、漁協や水産関係者が参加し、麻痺性貝毒簡易分析キットを使った分析試験が行われました。

この分析キットは、有毒なプランクトンを食べて、体内に毒が蓄積して引き起こる二枚貝の毒化を簡単に検査できるものです。町内で活用することで、検査機関に依頼する回数を減らし、費用を削減することができます。また早めに対応することができます。出荷規制の早期解除なども期待されています。

生産者の上甲仁さんは、「この分析キットで、対応が早くてできれば、生産者も安全性の高い貝を出荷することができる」と話しました。



▲分析キットを使って、貝毒の検査を行う愛南町役場水産課の職員

6/10 アプリでマダイの3枚おろしに挑戦  
アプリケーションを使った新しいぎょしょく授業を実施



▲59の作業工程を楽しく覚えながら、マダイの3枚おろしに挑戦する児童たち

柏小学校の5・6年生を対象に、ぎょしょくとプログラミング的思考を取り入れた授業が行われ、11人の児童がアプリケーションを使ったマダイの3枚おろしを疑似体験しました。

このアプリをゲーム感覚で使用し、楽しく作業工程を覚えることで、実際のマダイを扱う際に鮮度を保ち、新鮮でおいしく調理することができます。

アプリを体験した児童たちからは、「写真がリアルで本物のマダイに挑戦したくなった」といった感想が多数上がり、実際のマダイを使った3枚おろしへの意欲を見せていました。